

令和 7 年度 事業計画

【認知症施策推進大綱 5 つの柱に沿って施策を推進】

1. 普及啓発・本人発信支援

①認知症サポーター養成講座の実施

- 小中学校、妻高校等
- 職域への受講勧奨（金融機関、西都衛生公社、医療機関、介護保険事業所等）
- 地域への受講勧奨（百歳体操 2 年目支援や出前講座訪問時）

②キャラバン・メイト意見交換会の開催

- 令和 7 年 4 月 18 日（金）にキャラバン・メイト意見交換会を開催し、認知症サポーター養成講座の流れや班ごとに連絡方法等の確認。

③認知症月間における広報

- 西都市役所、図書館、パオ等において、認知症パネル展示、認知症関連パンフレット設置、認知症関連本の紹介、オレンジ作品展（認知症グループホームの作品展）等を実施。
- オレンジカフェ参加者やオレンジパートナーにも協力依頼する。
- 認知症の日（9 月 21 日）に、液晶プロジェクターを使用し、西都市役所本庁舎をオレンジ色の光でライトアップするとともに、オレンジガーデニングプロジェクトやパネル展示など西都市の認知症施策を紹介する。

④認知症フォーラムの開催

別紙 5

日時：令和 7 年 7 月 12 日（土） 開演：13 時 30 分～（開場：13 時）

場所：西都市民会館

テーマ：認知症になっても前向きに自分らしく暮らせるように

講師：（全国・大分県）認知症本人大使「希望大使」

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ理事 戸上 守 氏

パートナー：有限会社なでしこ・若年運輸 代表取締役 吉川 浩之 氏

⑤本人発信支援

- 西都市の認知症の人や家族の声や認知症本人大使「希望大使」からの西都市へのメッセージをケアパスに掲載したり、出前講座等で紹介する。
- 既存事業（認知症 SOS 事前登録、運転免許自主返納者の実態把握、認知症カフェ、百歳体操、個別相談時等）、関係機関との協働において、認知症本人の声を聴き、施策に反映する。
- 認知症本人やその家族にヘルプカードを紹介。必要に応じて一緒に作成する。
- 認知症本人の興味・関心のあることをできるように支援する。

⑥その他

- 広報さいと 9 月号や包括だよりに認知症に関する記事を掲載

2. 予防

①既存事業や出前講座における認知症予防の情報提供及び社会参加活動の促進

- サロン、百歳体操、認知症カフェ、運転免許自主返納者等に認知症予防の情報を提供する。
- サロンや百歳体操など社会活動に参加されていない方へ参加を勧奨する。
- 出前講座の内容としては、認知症早期受診勧奨や MCI、コグニサイズ等をベースに地域の実情に応じて対応する。
- 必要に応じて、主任ケアマネージャー・保健師・社会福祉士の 3 職種や第 1 層生活支援コーディネーター等とも協働する。

②運転免許自主返納高齢者（同意者）への実態把握

- 免許返納により社会活動が低下し、認知症発症のリスクが高くなる方に対し、実態把握と情報提供を行う。
- 認知症本人やその家族にヘルプカードを紹介。必要に応じて一緒に作成する。

3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

①認知症地域支援推進員を各地区地域包括支援センターに 1 名ずつ配置

②認知症初期集中支援チームの活動

（人員編成）

- 専門医…松本 英裕 氏（社会医療法人暁星会 三財病院 医師）
- 専門職…土持 由香 氏（合同会社 As a person 訪問看護ステーションいいな 看護師）
- 戸田 友紀 氏（医療法人恵喜会 西都病院 精神保健福祉士）

③認知症あんしんガイド（ケアパス）の見直し・作成、活用 別紙 6 ・ 7

- 1,800 部作成し、関係機関に配布。市のホームページに掲載。
- 認知症フォーラムの開催時期に合わせて 7 月に発行。

④医療機関とのネットワーク構築

- ケアパス配布、認知症フォーラムやパネル展示の広報時、情報交換する。

4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

①オレンジカフェ ホット・ハート in さいとの開催 別紙 3

- 認知症の方とその家族、地域の方や専門職など誰もが「認知症」というキーワードのものと集まれる「集いの場」。
- 対象者：西都市在住で、認知症の方、その家族、認知症に関心のある方など

②元気を出そう会 別紙 4

- 認知症と診断された方同士が交流しながらやりたいことをかなえる集いの場。
会には、認知症サポーター養成講座の受講生であり、市の認知症の取り組みにご協力いただいているオレンジパートナーも参加。
- 対象者：認知症と診断されている方または認知機能が低下している方

③チームオレンジの構築

- ステップアップ講座の開催。
- オレンジカフェや元気を出そう会、個別支援等を通して、認知症本人や家族のやりたいこと・困りごととオレンジパートナーとのマッチングを支援する。

④西都市認知症 SOS ネットワーク事業

- 認知症施策推進会議において、西都警察署、西都市消防本部、西都市民生委員児童委員協議会を招き、意見交換。
- (メール配信)
- 西都市民生委員児童委員協議会、居宅介護支援事業所主任者会議、認知症サポーター養成講座、オレンジカフェ等、既存事業や既存社会資源での登録の呼びかけを実施。
- (事前登録)
- 市民や関係機関に広く周知し、認知症の方を地域で見守る体制の構築につなげる。
- 居宅介護支援事業所主任者会議にて情報提供を行い、認知症により行方不明になるリスクの高い方を中心に呼びかけを実施。
- 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が把握した認知症による行方不明者について、年1回の報告を依頼。行方不明者の状況を把握し、認知症施策につなげる。
- 認知症本人やその家族に見守りシールを紹介。必要に応じて配布する。

⑤ヘルプカード活用・推進

- ヘルプカード（緊急連絡先や必要な支援内容などが記載され、日常生活で困った際に、周囲の理解や支援を求めるためのカード）を既存事業（事前登録者、チームオレンジ、オレンジカフェ、免許自主返納高齢者等）で把握した認知症本人やその家族に紹介。
- ヘルプカードの利用を希望する認知症本人と一緒にヘルプカードを作成する。

⑥県が設置している若年性認知症コーディネーターによる相談窓口の周知及び連携

- ケアパスに相談窓口を掲載する。
- 対象者に応じて認知症地域支援推進員が若年性認知症コーディネーターと連携する。
- 県が作成している「若年性認知症コーディネーターチラシ」と「若年性認知症ハンドブック」を関係機関に配布する。

5. 研究開発・産業促進・国際展開

- 国の動向を随時確認し、必要に応じて発信する。